

神戸市初の屋根貸し事業スタート！ ノーリツ、神戸市所有物件に導入したメガソーラーの発電開始

湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ（本社：神戸市、取締役社長：國井総一郎、資本金：201億円、東証一部上場）は、神戸市が所有する六甲アイランド地区航空貨物上屋（屋根）を使ったメガソーラー「神戸港太陽光発電所（神戸市東灘区）」を8月29日より発電開始します。民間業者による公有財産を使った屋根貸し太陽光発電開始は、神戸市で初めてです。



同発電所には太陽光発電モジュールを4,942枚設置。年間発電量は合計約120万kWhで、これは一般家庭の約220世帯分（関西電力㈱による従量電灯A契約のモデルケース300kWh/月の電力使用量での換算では約340世帯分）に相当します。年間600トンを超えるCO₂の削減効果を見込みます。発電した電力は再生可能エネルギーの固定価格買取制度に基づき、全量を電気事業者に売電します。

当社は中期経営計画「Vプラン16」（2011年～2016年）で新エネルギー分野の拡大を掲げ、太陽光発電システムの普及をすすめています。7月10日には国内最高出力・最高効率の※太陽光パネル「PVMDシリーズ」を発売、7月18日には加古川事業所太陽光発電所の本格稼働を開始しました。環境への負荷の少ない再生可能エネルギーの普及に貢献します。

また神戸市では、民間業者に所有物件の屋根を有償で貸し出す屋根貸し太陽光発電事業を2012年から進めてきました。これらのエネルギーに関する先進的な取り組みが評価され、2013年3月には政府から「環境モデル都市」に選定されています。本件は環境モデル都市の主要な取り組みとして推進している「KOBEROCCO・かもめ発電」の一環となります。

《神戸港太陽光発電所 概要》

発電所名	神戸港太陽光発電所
事業運営会社	株式会社ノーリツ
設置場所	神戸市東灘区向洋町東4丁目16番地
屋根面積	約24,000平方メートル
出力規模	約1.2メガワット
年間発電量	約120万kWh
パネル設置面積	9,475平方メートル（4,942枚）
CO ₂ 削減量	約600トン/年
建設費用	3.3億円
運転開始	2013年8月29日

※ 日本国内で生産販売している住宅用太陽電池モジュールシリコン多結晶系における公称最大出力、モジュール変換効率において（2013年4月当社調べ）